

協同組合の総数は約4万1千組織、 組合員数は延べ1億人超

—一般社団法人 日本協同組合連携機構（JCA）「2020 事業年度版 協同組合統計表」より—

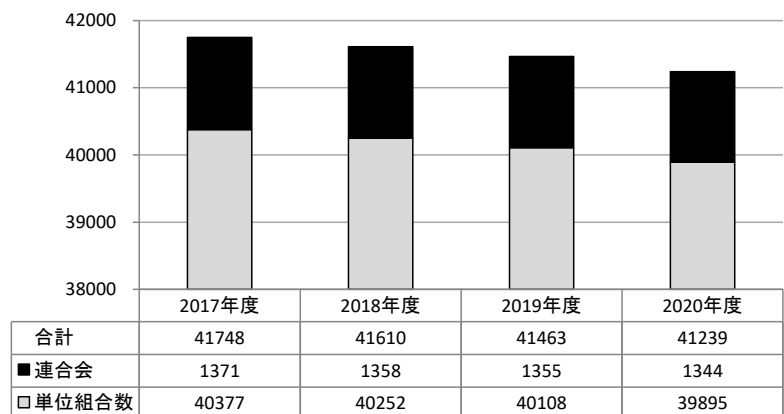
本稿では、一般社団法人 日本協同組合連携機構（JCA）が協同組合の実態を明らかにするために基礎資料を得ることを目的に作成している「協同組合統計表」から、2020（令和2）事業年度の協同組合の組織数・組合員数とともに事業の状況について確認してみたい。なお、本統計は主として官公庁・関係機関が公表している統計資料を横断的に引用・集計して作成されたものである。

1. 協同組合の総数と組合員数

まず、協同組合数についてみると、2020年度における単位組合数は3万9,895組合、協同組合の連合会が1,344連合会で、これらを合わせた総数は4万1,239組織となる。なお、国内の法人総数は約400万弱で、協同組合は1%程度となる。2017年度からの推移をみると、わずかながら減少がみられる（第1図）。

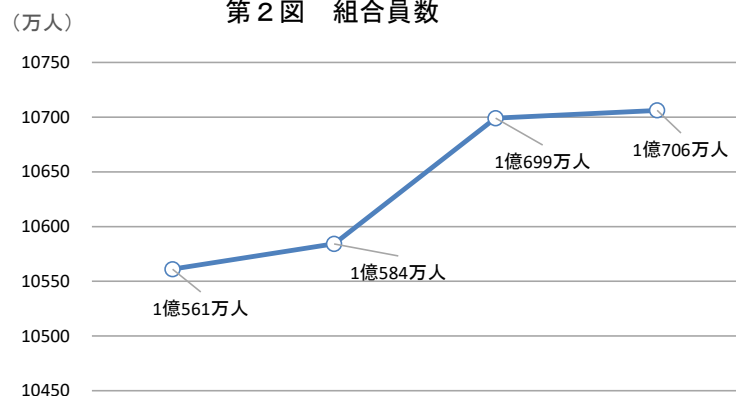
また、2020年度の各種協同組合の組合員数を合計すると述べ人数（複数加入者を重複して計上）は1億706万人で、これを世帯数で割ると1つの世帯は販売や共済など利用する事業に応じて1.8程度の協同組合に加入していることになる。協同組合数の減少に対し、組合員は微増である（第2図）。

第1図 協同組合の総数



出所：日本協同組合連携機構「2020事業年度版 協同組合統計表」より加工

第2図 組合員数



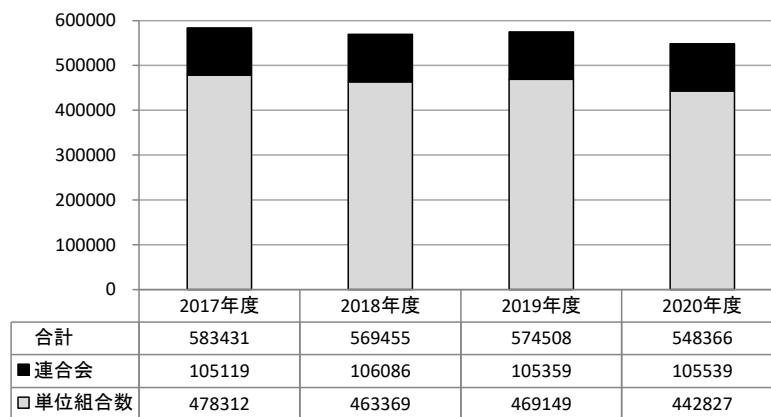
出所：日本協同組合連携機構「2020事業年度版 協同組合統計表」より加工

2. 常勤役職員数と施設数

次に、協同組合で働く常勤役職員の人数をみると、2020年度は54万8,366人となっている。2017年度からの推移をみると、増減が交互に続く結果となっている（第3図）。

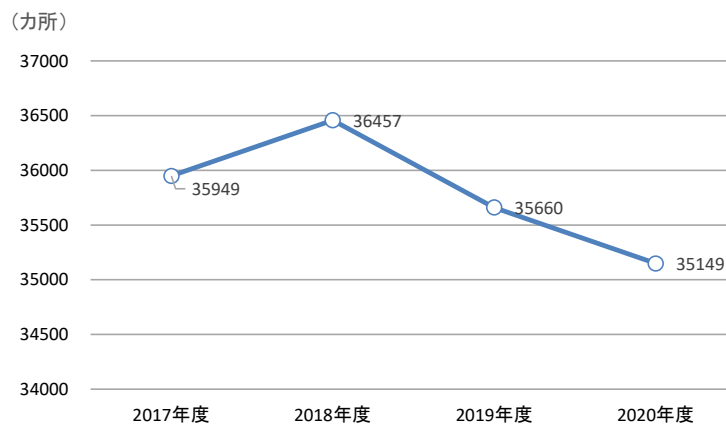
また、組合員が利用できる協同組合の施設数は、2020年度で3万5,149カ所となっており、2017年度以降はわずかながら減少傾向にある（第4図）。

第3図 常勤役職員数



出所：日本協同組合連携機構「2020事業年度版 協同組合統計表」より加工

第4図 施設数



出所：日本協同組合連携機構「2020事業年度版 協同組合統計表」より加工